

祇園小学校 校長だより（第64号） 令和2年度第5号 令和2年6月1日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

自他のいのちを愛（いと）おしむ

6月1日は「いのちを見つめる日」です。市内の全ての小・中学校で校長講話を行いました。感染症予防のため、本校では放送により児童に語りかけました。自分を大切にすることはもとより、自分の周りの人や動物、植物、物、地球環境をも大切にしてほしいとの願いを込めて話しました。周りを大切にすることは、自分のいのちを輝かせて生きることにもつながっていくものと思います。大人も子どもも、日常の小さなことにも関心を持ち、自他のいのちを愛おしみながら生きていきたいものです。

感染症予防と熱中症予防

先にお知らせしたとおり、夏休みが短くなり、従来夏休みだった日に授業を行うこととなりました。引き続き、感染症予防に取り組みながら、併せて熱中症予防にも気をつけてまいります。教室にはエアコンをつけますが、気温・湿度・輻射熱を熱中症計で計測し、外遊びなどに制限を加えることもあります。また、登下校を始め、熱がこもってたまらない時には、マスクをあごまで下ろし、人との会話や接触を避けることを子どもたちにも身に付けさせたいと思っています。

加配教員の活用による教育活動の充実

本校では、学級数に応じた定数の教員に加え、3～6年の外国語（英語）の能力向上、日本語指導・特別支援教育・個に応じた支援のための加配教員が配置されています。このほかにも、学習指導充実のための非常勤講師や、特別支援教育補助指導員、学校司書、スクールカウンセラーの配置もあり、教育活動の充実に努めています。

祇園歴史の旅（その64）「4周年の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革史によると、平成17年4月1日学校2学期制試行、7月29日九州算数・数学研究大会会場、9月6日台風による臨時休校があります。学校2学期制は平成18年度から市立全小・中学校で始まりましたが、その試行をしていた時期です。なお、市立小・中学校においては、令和4年度から3学期制となる方針が出されています。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は次のとおりです。平成17年4月1日個人情報保護法全面実施、6月1日クールビズ開始、9月1日衆議院郵政解散自民圧勝、平成18年2月10日トリノ冬期五輪、3月10日同パラリンピック開幕、3月20日野球第1回WBC日本優勝。

次回は、「5周年の祇園小とその時代」と題して、5周年年度の祇園小学校の出来事や平成18年4月～19年3月までの日本内外の主な出来事などをご紹介します…。